

Jiba

Vol. 41

Libre | リブレ

編集・発行
NPO法人日本バリアフリー協会／政策研究所
Japan Barrier-free Association
【事務局】〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16-801
TEL:03-5215-1485 FAX:03-5215-1735 E-MAIL:info@npjiba.org
URL : http://www.npojba.org

Contents

目次

- 1・2 …… 代表コラム
- 3 …… 出場者活動報告
- 4・5 …… 出場者
- 6 …… 応募状況
- 7 …… 特別ゲスト・司会者
- 8 …… ゲスト・審査員
- 9 …… ゲスト
- 10 …… 各地大会開催報告
- 11 …… アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」報告
- 12 …… ゴールドコンサートにおける合理的配慮 その①肢体不自由者対応
- 13 …… 15周年ゴールドコンサート協力者の皆様
マスメディアによる報道・掲載の実績
NPO 活動報告
- 14 …… 第14回ゴールドコンサート協力者の皆様
平成29年度競輪補助事業完了のお知らせ
- 15 …… ボランティアスタッフ募集のお知らせ
- 16 …… 15周年ゴールドコンサート本戦開催概要

※本会報誌においては敬称を省略させていただきます。

15周年ゴールドコンサート本戦 2018年10月6日(土) 東京国際フォーラム ホールC
GC グランドフェスティバル2018 2018年11月10日(土) 新木場Studio Coast

代表コラム

御礼！15周年ゴールドコンサート

ゴールドコンサートは15周年を迎えます。本当に多くの皆様のご支援のおかげで継続することができています。心より感謝いたします。

今後とも続けていくつもりですが、実はゴールドコンサートの最終目標は開催をやめることです。

すなわち、多くの会場のステージや楽屋、また稽古場のスタジオがバリアフリーになり、一般のオーディションでも情報保障がされるようになれば、特に障がい者だけのコンテストをやる意味がなくなるからです。

実際には現在そうっていないので、障がいが理由で本来の才能が見出してもらえないし、実力が過小評価されてしまいます。

よってバリアフリー環境が大きく改善されるまで継続します。ただ改善を待つだけでなく、とはいえ拳をかけて強く訴えるのでもなく、障がい者コミュニティの中で切磋琢磨し全体の底上げを図ります。

そしてゴールドコンサートの真の目的は、一般の人々に私たちの演奏技術や表現力の高さ、成長する姿をみてもらい、障がい者も活躍し社会に貢献できることを知らしめていくことによって、バリアフリー環境の必要性を知ってもらうことです。

引き続きの皆さんの支援、よろしくお願ひします。

平昌(ピョンチャン)から東京へ

今回の15周年ゴールドコンサート(本戦2018年10月6日。詳細は16ページ)のサブテーマは「平昌(ピョンチャン)から東京へ」です。

具体的にはピョンチャンパラリンピックの閉会式に出演したベ・ヒガンさんが来日しゲストとして演奏します。



ベ・ヒガンバンド(当時)第12回ゴールドコンサートにて(2015.10.12)

ベ・ヒガンさんは過去3回ゴールドコンサートに出場し、第7回の時に審査員特別賞を受賞しました。とてもご縁のある方たちです。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京オリパラ大会)を盛り上げていきたい、というのが私たちの思いですから、彼ら

のゲスト出演はそれにぴったりと合います。

また、15周年ゴールドコンサートは東京オリパラ大会を文化の面から盛り上げるbeyond2020という国の文化プログラムの認証を得ました。

パラリンピックの音楽バージョンとして

このような流れの中、ゴールドコンサートにおいては、東京オリパラ大会に向けて国際化に力を入れます。具体的には、4回目以降海外は韓国プラス1カ国からの出場が普通でしたが、それを計6～7カ国にしたいと思います。

この機会に、障がいをもつアスリートだけではなくミュージシャンにも来日してもらい、競い合ってもらうことにより、東京オリパラ大会の機運を高めます。

今回もアジア各国を中心に出場してもらうよう広報に力を入れました。その結果、いずれも過去最高の4カ国12組から応募があり、選考の末、3ヶ国3組の出場が決定しました(詳細は4、5ページ)。文化、言語の壁はありますが、それを超えてこそ真の国際親善だと思います。

なお各地大会については、今回は大阪、沖縄、ソウルの3ヶ所で開催し、それぞれの優勝者3組が東京本戦出場を決めています。

シンガポールにて

広報においては、シンガポールで募集のチラシを配らせてもらったことが、非常に効果がありました。

といいますのも、本年3月にシンガポールでアジア太平洋障害者音楽祭「True Colours Festival」が開催され、私も参画しました。これは、世界22カ国から障がいをもつミュージシャンとダンサーが約50名が集り、Indoor Stadiumという大規模な会場で3日間公演が行ったものです。観客は延べ1万人にのぼり、シンガポールのハリマ・ヤコブ大統領、リー・シェンロン首相また主催の日本財団の会長がご覧になるなど、大変盛況なイベントでした。

このイベントに、第7回ゴールドコンサートのグランプリ受賞者でバイオリニストの穴澤雄介と、10周年に出場した韓国出身のデュオThe Soundを出場させてもらいました。また、関連のイベントでは私自身も講演をさせていただきました。

その際に応募のチラシを配布させてもらい、それが2組の応募に繋がりました。このような機会をいただきとてもありがたかったです。



シンガポールの障害者芸術祭にて(2018.3.23)

GCグランドフェスティバル2018も開催

今年も11月10日(土)にGCグランドフェスティバルを開催します。これまで1年おきでしたが、今回は昨年に続いての開催です。これは、複数の著名なアーティストが出演するロック、ポップスの音楽イベントです。

ゴールドコンサートは障がい者が正に表舞台に立ちますが、こちらは裏方としてイベントを企画、制作します。主催が障がい者団体であるだけでなく、デザインや広報などの事前準備から、当日の受付案内、写真撮影にいたるまで、できる限り優先的に障がい者個人、団体が受注するというものです。

今回の出演者は誰になるか、お楽しみにどうぞ!

それではまた皆さんとどこかでお会いするのを楽しみにしています。



5回目となる大阪大会にて(2018.5.26)
右から代表貝谷、審査員酒井氏、審査員・ゲスト山下氏、
審査員長仲川氏

出場者活動報告

過去のゴールドコンサート(以下GC)出場者の活動を一部ご紹介します。

2018年6月2日(土)

会場: 吉祥寺スターパインズカフェ

『F.I.H.ハーモニカ・コンテスト2018第38回ブルースハープ・コンテスト(ブルース部門)』で、山下純一さん(10周年記念GCグランドチャンピオン)が1位に輝きました。



に、弊法人が紹介した穴澤雄介さん(第7回GCグランプリ)、The Sound(第10回GC出場)が出演されました。詳細は11ページへ。

2018年3月24日(土)

会場: 横浜赤レンガ倉庫1号館

フィンガーピッカーのためのライブとコンテストの祭典『Fingerpicking Day 2018』。

全国から公募され、選ばれた優秀者によるライブ審査の中で、つるみまさやさん(第14回GC楽曲賞)が、最優秀賞ほか5冠受賞に輝きました。

2018年2月3日(土)

会場: ターナーギャラリー

『「表と現」アーツプロジェクト』のオープニングイベントに、弊法人が紹介した穴澤雄介さん(第7回GCグランプリ)が出演されました。

この会場では、障がいのある方々が制作した絵画や立体作品の展示、製品の販売が行われました。

2018年4月11日(水)

式町水晶さんが(第9回GC特別出場)、キングレコードからメジャーデビューしました。

オフィシャルサイト

<https://www.mizuki-shikimachi.com/>

2018年3月4日(日)

会場: たましんRISURUホール

オリックス宮内財団が主催し、新日本フィルハーモニー交響楽団が演奏する『アキラさんの“お楽しみ”コンサート』(東京及び近県の障がいをもった児童・生徒とその保護者の方々等を無料招待)で行われたロビーコンサートに、弊法人が紹介した佐藤翔さん(第14回GCグランプリ)が、開場時間から開演時間までの時間帯に、ホールのロビーで午前と午後の2回、演奏されました。

2018年5月4日(金・祝)

会場: MC FOREST前広場

三菱商事株式会社のオリジナル企画として、『ラ・フォル・ジュルネTOKYO2018 MC FORESTエリアコンサート』が開催され、わたなべちひろさん(第13回GC観客賞)が、『わたなべちひろAcoustic Concert ~ Avec la musique ~』に出演されました。

2018年3月19日(月)

NHK特別番組『イマジンそこに「境界」はない』にわたなべちひろさん(第13回GC観客賞)が出演されました。

ゆずさんとのコラボや昨年挑戦したNYアポロシアターのアマチュアナイトの様子などが放送されました。

2018年6月3日(日)

会場: 宮城県仙台市街33ステージ

『とっておきの音楽祭2018』に、笙YUUさん(第13回GC楽曲賞)と、弊法人が紹介した太田将誉さん(第14回GCグランプリ)がストリート、フィナーレのステージで演奏されました。

とっておきの音楽祭は、障がいがある人もない人も一緒に楽しむストリート音楽祭です。2001年に仙台で始まり、全国18カ所で開催されています。

2018年3月23日(金)~3月25日(月)

会場: シンガポール・インドア・スタジアム他

『アジア太平洋障害者芸術祭 True Colours Festival』



15周年 ゴールドコンサート本戦

2018年10月6日(土)
東京国際フォーラム ホールC

出場者

出場者名 島袋 弘

曲名: ステップ
障がい: 視覚 地域: 沖縄県
編成: ギター・ボーカル

◆プロフィール◆

今から45年前、中古のエレキギターを購入し、楽譜は見えない為、自己流で今日まで音楽を楽しんでまいりました。暫くギターのテクニクが上がる事もなく数年が過ぎ、少しずつメロディーや歌詞が浮かんだ時にテープレコーダーに録音し作りためてきました。

ところが、音楽に対する興味が無くなり、10年程が過ぎ、盲学校に入学し、歌う場所を得たのですが卒業と共に再び興味が失せ、ギターの弦を張り替える事もなくなりました。数年後ゴールドコンサートの情報を得て、自作の曲を披露する場所があることを聞き、3年前の地区予選に出場する事になりました。今回で3回目です。

出場者名 Vaseux

曲名: junk love boutique
障がい: 精神 地域: 埼玉県
編成: ギター、DJ (プログラミング) ほか

◆プロフィール◆

Vaseux[ヴァズ]について。鵜沼麻衣子[Vocal]と小久保宏樹[Guitar Programming]のエレクトロPOPユニット。2016年12月より活動をスタート。鵜沼のバイリンガルな言葉のセンスとスペイン人クォーターの小久保の仕掛ける実験的サウンドと様々なジャンルでコーラージュされるダンスなオルタナティブポップ。Vaseux[ヴァズ]とは、フランス語で“泥まみれ”。キャッチコピーは[MUDDY UP HERE I AM.]。泥まみれに霞んでしまったって気にしないしそれもひとつの生き方と云う意味です。ダンスでアーバンな匂いする、ちょっと変わったユニット。それがVaseux[ヴァズ]です。

出場者名 ハー・チューン

曲名: Cung Dan Dat Nuoc
障がい: 視覚 地域: ベトナム
編成: ギター・ダンバウ

◆プロフィール◆

一弦器と作曲を専門とし、ベトナム国立音楽院の最優秀学生として卒業する。

ベトナムの音楽コンサートで10個以上の金メダルを獲得し、2014年にはベトナムのGot Talentのトップ3にも選ばれました。

10種類以上の楽器を巧みに演奏できます。

出場者名 口石 和人

曲名: Blues of Hope
障がい: 肢体 地域: 大阪府
編成: ギター・ボーカル

◆プロフィール◆

14歳の時に近所のレコード屋で5,000円のフォークギターを買い、音楽にのめり込む。

その後、ライブハウス、酒場等で活動も、2006年転落事故により車いす生活を余儀なくされるが、しぶとく全国で音楽活動続ける。しかし、2016年に敗血症を患い半年間生死の境を彷徨うも奇跡的に生還し、音楽活動を続け現在に至る。不屈の精神を持つ男、世界中どこでも唄います!

出場者名 イ・ジワン

曲名: 旌善アリラン・花村
障がい: 知的 地域: 韓国
編成: ボーカル

◆プロフィール◆

妹と共に「国民民謡姉妹」と呼ばれ、慈善公演の活動している。

韓国の伝統的姻族芸能のパンソリを伝えている。

障がいアーティスト初の女性のプロ歌手を目指している。

出場者名 ▶ **山本 まりん****曲名**：みちのく**障がい**：発達、肢体 **地域**：宮城県**編成**：ケーナ・ボーカル、シンセサイザー

◆プロフィール◆

音楽や読書が大好きなこども時代、音楽の色々な音色や世界観に触れて次第に自分でも何か演奏したいと思い始める。

一方で学校生活に不可解なズレや困難さを感じ始める。中学高校では部活動(吹奏楽)に打ち込むも勉強にはついて行けず、その頃に発達障害(ADD.LD)と診断される。

その後、心理学や障害について自身でも学び始め、音楽講師でもある母とボランティアにも参加。

その中で音楽の可能性を強く感じ、音楽で自身を表現することによって外の世界と繋がることが出来、さらには人と人とを繋ぐことも出来ることを実感する。

そんな音楽の力強さと優しさ、国境や、心の壁さえも超えるボーダーレスな魅力を沢山の人たちに伝えたい。

出場者名 ▶ **的場悟史 & 山川亜矢****曲名**：Seagull ～アルトサクソフォンとピアノのための～**障がい**：肢体 **地域**：熊本県**編成**：アルトサクソフォンほか

◆プロフィール◆

的場悟史は小学四年生から吹奏楽部でアルトサクソフォンを吹き始め、今年3月に普通高校を卒業するまでのこの3年間は吹奏楽部に所属しながら数々のソロコンクールに挑戦してきました。その時のピアノ伴奏のほとんどでお世話になったのが共演の山川先生です。昨年12月の熊日学生音楽コンクールでは管打楽器部門最優秀賞と特別賞の熊本市賞を受賞。JBA(日本吹奏楽指導者協会)ソロコンクールでは九州大会に進み金賞を受賞しました。

今まで自分に限界を作らずやってきたように、これからも大好きな音楽を精一杯やっていきたいと思っています。

出場者名 ▶ **カズキ・ダン****曲名**：Soldiers of Hope**障がい**：視覚 **地域**：シンガポール**編成**：ギター・ハーモニカ・ボーカル

◆プロフィール◆

シンガポールのブラインドバスターです。音楽が世界共通語であると信じ、シンガポールの街で多くの通行人を驚かせている。主にソロで、ギター、キーボード、ハーモニカなどの楽器を演奏し、様々な言語で歌う多才な人物である。またバンドのリード・ギタリストとして多数の国に行き、船上でも演奏した経験を持つ。

出場者名 ▶ **YOUTA****曲名**：H30**障がい**：肢体 **地域**：富山県**編成**：ピアノ

◆プロフィール◆

「音楽で希望を届け、心のバリアを取り払い、人と人をつなぐ架け橋になりたい」

2007年、武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。今年で音楽活動10周年を迎える。

幼少期からの即興演奏と電子オルガンで培った多様な音楽性に、クラシックピアノから得た繊細さがドッキング。その指先から産み落とされた楽曲は、目を閉じている聴き手のまぶたに美しい映像を浮かび上がらせる。作品はインストから歌物まで多彩で、作風はロックからバラードまで幅広い。

ピアノ曲のCD『EGOCORO』はリラクゼーション効果が高いと好評。

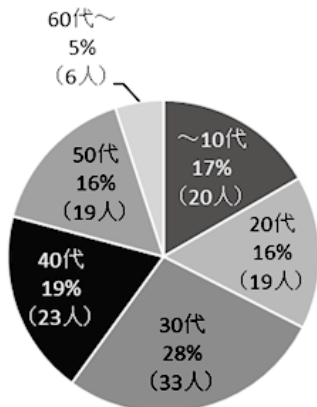
作曲家・ピアニスト・音楽プロデューサーとして活動するほか、イベント企画も積極的に行っている。



応募状況

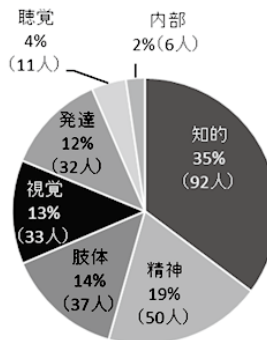
応募期間である、2018年1月1日～5月6日までの期間に沖縄・大阪・ソウルでの地方大会、音源エントリーを合わせて、120組の応募が寄せられました。ジャンルもポップス、クラシック、ロック、ジャズなど多岐にわたります。

1 応募者の年齢 (n=120)



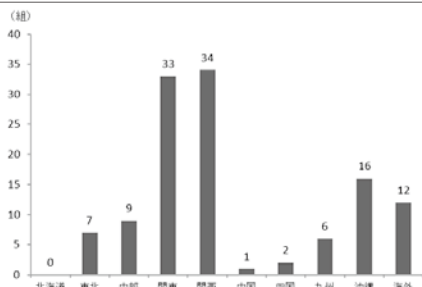
例年通り30代40代からの応募が多い結果となりました。

2 障がいの種類 (n=120)



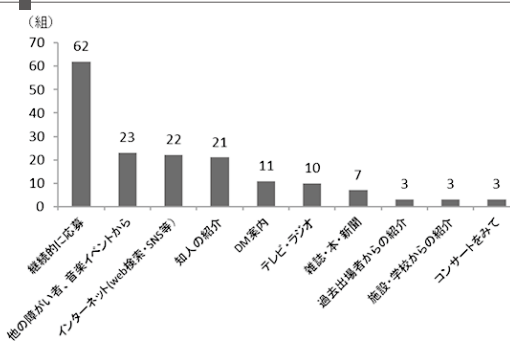
今年は、特に知的障がい者からの応募が増えました。増加した理由として、グループでの応募が多かったことが考えられます。※重複障がいや、グループに複数の障がい者を含む場合は、それぞれを障がい者として集計しています。

3 応募者地域 (n=120)



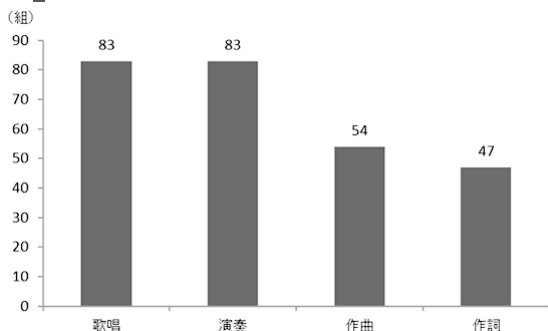
各地方大会には、沖縄13組、大阪22組、ソウル4組が出演し、中でも地方大会in大阪の出演組数は、過去5回の開催の内、最多となりました。その影響もあったためか、今回は、関西からの応募組数がトップとなりました。また、海外からの音源応募も増え、韓国、シンガポール、ベトナム、フィリピンと4カ国からの応募がありました。

4 応募のきっかけ (n=120)



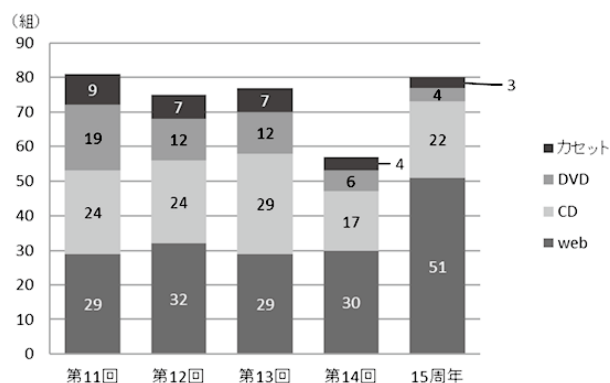
幅広く応募のきっかけが分布しています。継続的な応募者(62組)、他の障がい者、音楽イベントやインターネット検索が応募のきっかけとして増加傾向にあります。※複数回答有、回答者のみを集計

5 障がい者の役割 (n=120)



今回、オリジナル曲での応募は約6割。約4割がカバー・コピー曲での応募でした。※障がい者が複数の役割を担当する場合は、それぞれを障がい者の役割として集計しています。

6 音源応募の録音データ (第11回～15周年までの音源エントリーのみ) (n=120)



今回はwebからの応募が例年に比べ、大幅に増えました。

特別ゲスト・司会者

特別ゲスト 朝岡 周



■ プロフィール

12歳よりサクスを始める。幼少より親しんできたクラシック音楽に加えTower of powerやIncognitoといったアーティストの影響を大きく受ける。

2015年1月に音楽配信サイトiTunesにて初シングル[Smiler]を全世界配信し、iTunes JAZZ chartにて第1位を獲得。同年末には1stCD[Showtime]をリリース、2016年3月16日にはMotion Blue Yokohamaにてリリース記念ライブを行い全席sold out。同CDは2016年4月28日より全国流通を開始。

2016年10月27日、2017年3月15日には再びMotion Blue Yokohamaにてワンマンライブ“This is Showtime”を開催し全席sold out、3公演連続sold outを記録。2017/8/11には同じくモーションブルーにて、大阪出身の日本を代表するヒップホップバンド韻シストbandを迎えてのサマーパーティを開催。横浜を拠点に踊れるファンクを軸に活動中。様々な音楽の垣根を超える興奮を日々探求する。

朝岡周さんは「コバケンとその仲間たちオーケストラ」のメンバーとしても活躍されています。
同オーケストラには長年ゴールドコンサートを支援していただき、今回も朝岡周さんを紹介していただきました。

【コバケンとその仲間たちオーケストラ】

指揮者 小林研一郎は2005年 社会貢献を目的とした『コバケンとその仲間たちオーケストラ』を設立
全ての人と与えられた命を輝いて生きる共生社会をオーケストラという集団の中で具現化している

司会者 村松 加王里 〈フリーアナウンサー〉

ゲスト・審査員

ゲスト ベ・ヒガンバンド



プロフィール

ベ・ヒガンバンドは、視覚障がい者と健常者が同じメンバーとして、「音」という感覚でコミュニケーションをとりながら交感する、幸せで楽しいエネルギーに満ちた韓国の5人組モダンロックバンドです。

メンバーと彼らの音楽を聞く人たちが音楽を通して、人種・障がい・年齢・性別にかかわらず、「音楽」で一つになり「共感」できる、愉快で心地良い魅力を持っています。

2014年12月には初アルバム**사장序章「君と一緒に」**を発売し、ソウルのアートの香りが漂う若者の街、弘大を中心に定期的にライブを行い、せわしない日々を生きている現代人に温かい希望のメッセージを伝えています。

審査員

<審査員長>

湯川 れい子 (音楽評論家・作詞家)

才能と魅力のある新人を発掘して、世に送り出すプロジェクトでもあります。
遊びに来て下さった皆さまからの投票も活用されます。
ぜひご来場ください。

<副審査員長>

吉岡 正晴 (音楽評論家)

<審査員>

阿部 恒世 (WaWaWa元編集長)

工藤 由美 (音楽ジャーナリスト)

小久保 隆 (環境音楽家)

萩原 岳 (ナレーター、
宣伝販売促進コンサルタント、
日本工学院専門学校 非常勤講師)

花村ひろ子 (有限会社エフ・エム・ジー会長)

ゲスト

ゲスト 太田 将誉 (第14回ゴールドコンサートグランプリ受賞者)



プロフィール

4歳の時、ピアノ教室見学の際 絶対音感があることと即興演奏ができることが分かった。自閉症スペクトラム障害のため、コミュニケーションが困難で空想での一人遊びばかりだったが、ピアノを始めてからは、生き々と自由に曲を作り、日々演奏することが一番の楽しみとなった。2009年大阪府障害者芸術コンテストグランプリ受賞を皮切りに、国内外にてグランプリ、金賞など数多く受賞。その間もパニック障害を併発し長期入院を余儀なくされたが、ピアノへの情熱は決して揺らぐことはなかった。その後、ゴールドコンサート3回連続出場、2015年湯川れい子賞に続き、2017年グランプリ受賞。現在、各地での演奏活動、12月にニューヨークでの演奏を控えている。



ゲスト 佐藤 翔 (第14回ゴールドコンサートグランプリ受賞者)



プロフィール

第14回ゴールドコンサートでグランプリを受賞した佐藤翔です。先日学校で将来の職業についての授業がありました。自分はどんな事がしたいのか。どんな職業があっているのか。とても興味がありました。そして診断の結果はミュージシャンでした。自分でもやっぱりと思いそのような仕事についたら毎日がとても楽しいだろうと想像しました。勿論僕の夢はミュージシャンになることです。しかもマルチプレイヤーを目指します。みんなが笑顔になるように僕も毎日笑顔で夢に向かって進みます。



15周年ゴールドコンサート各地大会開催報告

ゴールドコンサートの地方への拡大と、障がいを持つ音楽家の音楽活動の幅を広げるため音源応募に加えて開催している各地大会は今年で5年目を迎えます。今回は、大阪・沖縄・ソウルの3か所で各地大会を開催し、3組のミュージシャンが15周年ゴールドコンサート本戦出場となりました。

大阪は、過去最大の応募者数となりました。オープンスペースで開催したこともあり会場は最後まで大きな盛り上がりを見せました。

各大会の詳細は下記の通りです。

15周年ゴールドコンサート地方大会 in 沖縄

2018年2月10日(土)

会場：ミュージックタウン音市場3Fホール 応募者：13組



優勝 島袋 弘

曲名：ステップ
地域：沖縄
障がい：視覚
パート：ボーカル・ギター

**会場
審査賞**

リトルスター

審査員：
貝谷 嘉洋
我如古盛健(NPO法人サポートセンターケントミ理事長)
仲本 兼明(沖縄市副市長)
識名 安信(ライオンズクラブ元ガバナー)
前泊 寛道(高齢者福祉施設SYM代表)
上与那原寛和(パラリンピック陸上メダリスト)
来賓挨拶：桑江 朝千夫(沖縄市長)

補助事業：公益財団法人JKA

メンタリングクラスオーディション

2018年2月26日(月) 会場：江南(カンナム) 障害者福祉館アクティブホール



優勝 イ・ジワン 地域：韓国 障がい：知的 パート：ボーカル

15周年ゴールドコンサート地方大会 in 大阪

2018年5月26日(土) 会場：カンテレ扇町スクエア1Fイベントスペース 応募者：22組



優勝 口石 和人

曲名：Blues of Hope
地域：大阪
障がい：肢体
パート：ボーカル・ギター

準優勝 Harmony With You

曲名：翼がなくても
地域：大阪
障がい：視覚
パート：ボーカルほか

観客賞 シェイクオブロック

曲名：バリアフリー
地域：兵庫
障がい：知的・発達
パート：ボーカル、キーボード、ドラム、カホンほか

審査員長：仲川 一昭(福祉の管弦楽団まごころ・ボランティアオーケストラ「響」代表・指揮者)
審査員：酒井 靖(一般財団法人たんぼぼの家エグゼクティブ・ディレクター)
山下 純一(シンガーソングライター、10周年記念ゴールドコンサートグランドチャンピオン)
ゲスト：山下 純一
司会：斎藤 日登美、吉井 康雄
〈当日ボランティア〉井上亜須佳、関利雄、高田弘治、高田大、長井勘治、中村辰男、廣田良平、堀越美江、松崎帆南、吉井雪絵、大同生命保険株式会社の有志

補助事業：公益財団法人JKA

後援：厚生労働省・文部科学省・大阪府・大阪市・社会福祉法人NHK厚生文化事業団・社会福祉法人視覚障害者支援総合センター・全国自立生活センター協議会・全国特別支援教育推進連盟・一般社団法人日本筋ジストロフィー協会・公益財団法人日本フィランソロピー協会

アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」報告

2018年3月にシンガポールで開催された、アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」に代表の貝谷嘉洋と、第7回ゴールドコンサートグランプリでバイオリニストの穴澤雄介、10周年記念ゴールドコンサートに出場した韓国のボーカル&ピアノデュオのThe Soundが、貝谷パーソナルアシスタント、弊法人職員を含む関係者10名で参加してきました。

アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」は、アジア太平洋地域における障がい者を取り巻く社会全体に対する啓発を行うことを目的に、2018年3月にシンガポール・インドア・スタジアム等で日本財団と国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の主催で開催された芸術祭です。

3月22日・23日は、アーティストやアート関係者、福祉関係者らによるシンポジウムやディスカッションの場としてArts & Disability International Conference2018が開催されました。貝谷は3月23日に登壇し、「Can Music and Technology Change the World?」という演題で主催する障がい者の音楽コンテスト『ゴールドコンサート』を中心に、障がい者と舞台芸術をつなぐ技術のことや新たな取り組みである『GCグランドフェスティバル』などについて約40分の講演をしました。

3月23日～25日の3日間にかけてシンガポール・インドア・スタジアムで開催されたコンサートには、弊法人が提案し選出された過去ゴールドコンサート出場者、穴澤雄介とThe Soundの2組が出演しました。シンガポールをはじめ、日本・韓国・中国・フィリピン・オーストラリアなどアジアおよび太平洋諸国の約20カ国の障がいをもつミュージシャンやダンサーが出演し、ビッグバンド全盛の時代の有名な英語の曲のメロディーをはじめ、世界的なヒット曲が多く披露されました。

穴澤さんは、和服姿で「さくら」を編曲したオリジナルリミックスに溢れる楽曲を披露したり、シンガーやダンスパフォーマンスとのコラボレーションをしたりと、メドレー含む6曲を演奏し観客を大いに沸かせました。

The Soundは、ボーカルのハン・ヘジュンさんとピアノ演奏のキム・ソンイルさんによる楽曲の披露をしたり、他のシンガーとのコラボレーションをしたりと、コラボレーションを含む4曲を演奏し喝采を浴びました。

また隣接する野外のOCBCスクエア特設ステージでも様々なパフォーマンスが行われ、3日間で約1万人以上の観客が来場しました。

主催：公益財団法人日本財団、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)



ゴールドコンサートにおける合理的配慮その①肢体不自由者対応

平成28年4月1日から施行された、障害者差別解消法では、障がい者に対する不当な差別的取扱いの禁止、そのための合理的配慮の提供を求めています。

音楽イベントにおける合理的配慮とは、会場のバリアフリー化をはじめ、聴覚障がい者に手話や文字通訳を行うこと、読み上げソフト対応の当日情報を提供すること、車いす席を用意することなどがあげられます。

今回はゴールドコンサートにおける車いす使用者など肢体不自由者への対応を紹介します。

ゴールドコンサートにおける車いす使用者など肢体不自由者への対応

■東京国際フォーラムホールC(最大1502席)はバリアフリー

この会場は、観客だけではなく演者にとってもバリアフリー対応がされている。我が国の音楽ホールでは稀で、障がいをもつ演者の多いゴールドコンサートをここで開催する大きな理由でもある。

その他、車いす2台同時使用可能な24人乗りエレベーターが4基あり、多目的トイレの数も多く、比較的厳しいTokyo 2020アクセシビリティ・ガイドライン(※1、以下ガイドライン)に準拠するなど、整備されている。

また、オーケストラピットを車いすスペースに転用できる。ゴールドコンサートはそれを実施し、車いすまたはその介助者のための席(枠)が47人分と全体の3%以上であり非常に高い割合にしている(ガイドラインは最高2.4%)。

■チケット、車いす席(枠)

観覧の条件をできる限り平等にするために次のような対応をしている。

- ・車いす席は最高価格のSS席のエリアにしかないので、最安価なA席の価格で提供。
- ・車いす使用者の同行人数には制限は設けず、一般席も含めて近い席を提供。
- ・介助者が必要な方は1名まで無料。
- ・スタッフは身体介助を行わない(車いすを押す程度であればよい)。
- ・必要がある場合は、席の位置の要望に沿えるようにする。

今回、ゴールドコンサート実行委員の小西明宏様に聞き取り調査にご協力いただきました。47枠という車いす席は指定席で事前に発券していますが、当日は観客から様々な要望があり、臨機応変に対応しているとのことでした。

また一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(※2、ACPC)にも連絡し、車いす席において課題となる様々な事例についてご教示いただきました。詳しくはACPCのホームページをご覧ください。

今後も、関係各所と連携しつつ、音楽イベント、スポーツイベントにおける合理的配慮のあるべき姿について模索していきます。

※1 Tokyo 2020アクセシビリティ・ガイドライン(2017年3月24日公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会)

※2 一般社団法人コンサートプロモーターズ協会(ACPC) 音楽を中心としたライブ・エンタテインメントを主催する、全国のプロモーターで構成される一般社団法人

15周年ゴールドコンサート協力者の皆様

2018年10月6日(土) 東京国際フォーラム ホールC

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

◆後援
厚生労働省
文部科学省
東京都
千代田区
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロビー協会
◆補助事業
公益財団法人JKA

◆協賛
公益財団法人オリックス宮内財団
関西学院大学
キッコマン株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社
国際ソロプチミスト川崎
ユニカミノルタジャパン株式会社
コムシス通産株式会社
株式会社コヤマドライブングスクール
株式会社SANKO
大同生命社会貢献の会
東京西ロータリークラブ
日本イーライリリー株式会社
日本信号株式会社
株式会社日本テレソフト
ノーベルファーマ株式会社
バイオニア株式会社
株式会社フォーシーズ
有限会社フジオートFUJICON
Meiji Seika ファルマ株式会社
明治安田生命保険相互会社
医療法人和楽会

◆協力
株式会社エイチ・アイ・エスユニバーサルツアーズデスク
関西学院大学同窓会東京支部
江南障害者福祉館Active Art
株式会社京進
クレセント経営研究所
コバケンとその仲間たちオーケストラ
一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局
スポーツニッポン新聞社
NPO法人とっておきの音楽祭
日本オラル株式会社
公益財団法人日本ケアフィット共育機構
NPO法人日本バリアフリー政策研究所
バンローリング株式会社
株式会社フジテレビジョン
株式会社メディカルフォーラム
めびうすのWA
六本木ふるめん

活動報告(2017年10月～2018年6月初旬)

2017	10月11日(水)	ゴールドコンサート(以下GC)実行委員会(実行委員他17名参加)	
	10月21日(土)	第6回鉄道祭りに代表、事務局長が参加@日本信号株式会社久喜事業所	
	11月9日(金)	GCランドフェスティバル企画運営会議(関係者他15名参加)	
	11月10日(金)～11日(土)	BETTER TOGETHER2017にて事務局長が発表@Old Tobacco Factory city of Cheonju,KOREA(韓国清州市)	
	11月12日(日)	ミュージカル「VISAN」稽古を事務局長が見学@WORLD CULTURE OPEN(韓国ソウル市)	
	11月26日(日)	明治大学ヒューマンライブラリー2017にて代表が講演@明治大学中野キャンパス	
	12月6日(水)	GC実行委員会(実行委員他10名参加)	
	12月14日(木)	日本デンマーク外交関係樹立150周年パーティーに代表、事務局長が参加@デンマーク大使館	
	2018	1月8日(月・祝)	第43回めびうすカフェに代表が参加@白金タワー
		1月28日(日)	一般社団法人日本筋ジストロフィー協会東北地方本部主催ピアカウンセラー養成講座(筋ジス研究班(武田班)の研究事項「ピアカウンセラー養成講座」分担研究者貝谷久宣(日本筋ジストロフィー協会理事長)の運営、代表が講演@みやぎNPOプラザ
2月1日(木)		福島大学人間発達文化学類「肢体不自由者の生理病理心理」(担当教授:内田千代子先生)の授業にて代表が講演@福島大学	
2月3日(土)		「表」と「現」アーツプロジェクトオープニングイベントにて代表が挨拶。弊法人が紹介した穴澤雄介(GCアグランプリ)が演奏@ターナーギャラリー	
2月10日(土)		15周年ゴールドコンサート地方大会in沖縄を主催@ミュージックタウン音市場	
2月21日(水)		日本経営同友倶楽部第7回月例会に代表と事務局長が出席@日本工業倶楽部	
2月26日(月)		メンタリングクラスオーディション開催@江南障害者福祉館アクティブホール(韓国ソウル市)	
3月4日(日)		オリックスグループ新日本フィルハーモニー交響楽団春休みアキラさんの「お楽しみ」コンサートにて弊法人が紹介した佐藤翔(第14回GCグランプリ)がロビーにて演奏@たましんRISURUホール	
3月4日(日)		パラ駅伝を代表が見学@駒沢公園陸上競技場	
3月7日(水)		GC実行委員会(実行委員他11名参加)	
3月16日(金)		フォーラム「Music for all - すべての人に音楽を！」	
3月23日(金)～25日(日)		アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」カンファレンスにて代表が講演し、コンサートに弊協会が提案し選出された穴澤雄介(第7回GCグランプリ)とThe Sound(10周年記念GC出場)が出演@シンガポール・インドア・スタジアム他	
4月25日(水)	アジア太平洋障害者芸術祭「True Colours Festival」参加報告会(穴澤雄介(第7回GCグランプリ)他13名参加)		
5月26日(土)	15周年ゴールドコンサート地方大会in大阪を主催@カンテレ扇町スクエア1Fイベントスペース		
6月3日(日)	とっておきの音楽祭にて弊法人が紹介した太田将誉さん(第14回GCグランプリ)と、笙YUUさん(第13回GC楽曲賞)が演奏@仙台市民広場他市街33ステージ		

マスメディアによる告知・放送・掲載 各項目50音順

テレビ・ラジオ	NHK各局	新聞	スポーツニッポン/点字毎日
雑誌・機関紙など	一日も早く/母校通信(関西学院大学同窓会会報誌)/難病と在宅ケア/		
	にっくろ/デイジーマガジン/NEWMEDIA/邦楽ジャーナル/リハビリテーション		
インターネット	公募ガイド/CDジャーナル/スポニチアネックス/登竜門/東京都社会福祉協議会		

第14回ゴールドコンサート協力者の皆様

2017年9月16日(土) 東京国際フォーラム ホールC

50音順(後援を除く)(以下、敬称略)

◆後援

厚生労働省
文部科学省
デンマーク大使館
東京都
千代田区
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
全国自立生活センター協議会
全国特別支援教育推進連盟
社会福祉法人鉄道身障者福祉協会
一般社団法人日本筋ジストロフィー協会
公益社団法人日本フィランソロピー協会

◆補助事業

公益財団法人JKA

◆協賛<企業・団体>

有限会社エフ・エム・ジー	東京西ロータリークラブ
公益財団法人オリックス宮内財団	日本イーライリリー株式会社
関西学院大学	日本信号株式会社
キッコーマン株式会社	ノーベルファーマ株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社	バイオニア株式会社
国際ソロプチミスト川崎	株式会社フォーシーズ
コニカミノルタジャパン株式会社	有限会社フジオートFUJICON
コムシス通産株式会社	Meiji Seika ファルマ株式会社
株式会社コヤマドライビングスクール	明治安田生命保険相互会社
J.P. モルガン	mont・bell
大同生命社会貢献の会	医療法人和楽会

◆協賛<個人>

新居倫子	坂内恵子
安藤勇寿	坂内智也
遠藤光	福澤利夫
大木聖薫	古野浩明
加藤喜昭	町田久美子
公ちゃん	深山純幸
佐々木司	村上みな子
祐成常久	藪本雅子
多根伸彦	山中洋子
出口貴美子	吉井勇
富島美樹	吉崎英雄
永田啓子	吉田栄治
	他匿名希望11名

◆協力

株式会社エイチ・アイ・エスユニバーサルツーリズムデスク	スポーツニッポン新聞社
FMCワッホー編集部	デンマーク筋ジストロフィー協会
関西学院同窓会東京支部	NPO法人とっておきの音楽祭
江南(カンナム)障害者福祉館Active Art	日本オラクル株式会社
キュービーグループマッチングギフト「QPeace」	公益財団法人日本ケアフィット共育機構
一般社団法人在日韓国商工会議所	NPO法人日本バリアフリー政策研究所
株式会社京進	株式会社フジテレビジョン
クレセント経営研究所	株式会社メディカルフォーラム
一般社団法人グローバルカタリスト	めびうすのWA
一般社団法人障がい者自立推進機構パラリンアート運営事務局	六本木ふるめん
新老人の会	

※当法人の年間活動へ、ファイザー株式会社からご支援をいただいております。



平成29年度 競輪補助事業完了のお知らせ



この度平成二十九年度の競輪の補助金を受けて、下記の事業を完了いたしました。

記

- 一、事業名
平成二十九年度 障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業
- 一、事業の内容
第14回ゴールドコンサート
- 一、補助金額
6,825,000円
- 一、実施場所
東京国際フォーラムホールC
- 一、完了年月日
平成三十年二月十日

(特非) 日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷嘉洋



©川津貴信

ボランティアスタッフ募集のお知らせ

下記イベントの運営を有志でお手伝いしていただける方を募集しています。どちらか一つでも、両方でも応募可能です。

15周年ゴールドコンサート本戦

国内外の予選及び音源審査、120組の中から勝ち抜いた約10組の障がいをもつミュージシャンがグランプリを目指す音楽コンテストです。今年で15回目を迎えます。(昨年、学生さんから社会人の方まで約200名の方にご参加いただきました)

日時

2018年10月6日(土) 9:00頃～21:00頃
終日お手伝いいただける方

ただし仕事内容によっては時間が早まったり、お昼からの参加となったりする場合があります。

会場

東京国際フォーラム ホールC【最大座席数1,502席】
(東京都千代田区丸の内3-5-1)

仕事の内容

障がいをもつ出場者や舞台裏の手伝い、来場者の受付・案内、機材の搬入搬出、会場警備、その他
※コンサートを観覧いただきレポートを提出していただく事もあります。

※経験は問いません。障がい者の方も歓迎

※手話、英語、韓国語、ベトナム語の出来る方歓迎

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険(万一の事故に備え、主催者側で一括加入)軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

締め切り

2018年8月19日(日)

(※応募多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります)

ボランティア説明会

2018年9月22日(土)

13:30～16:00(懇親会含む)

開催場所：東京都港区内

●ゴールドコンサートにボランティア参加する希望者は、10月7日(日)13:00～15:30(予定)に東京都港区内で開催する出場者交流会(会費制)に参加可能

GCグランドフェスティバル2018

ロック、ポップスを中心とした著名アーティストによる音楽イベントで、日本初の障がい者が主催するエンタテインメント事業です。多くの業務を障がい者に発注しており、今回で4回目を迎えます。

日時

2018年11月10日(土) 12:00頃～21:00頃

会場

STUDIO COAST(東京都江東区新木場2-2-10)

仕事の内容

チラシ、プログラム等の配布物の封入、機材の搬入搬出・会場警備、来場者案内、その他

※可能な方は各所でチラシの配布・ネット広報等の事前広報活動

コンサート当日の諸条件

ボランティア保険(万一の事故に備え、主催者側で一括加入)軽食・飲み物支給あり、交通費の支給なし

締め切り

2018年9月24日(月・祝)

(※応募多数の場合、締切前に募集を終了する場合があります)

ボランティア説明会

開催約2週間前の週末(午後)に東京都内で開催。

お申込み

日本バリアフリー協会ホームページのボランティア募集
(<http://www.npojba.org/volunteer>)にある応募フォームからお申込みください。



お問い合わせ先：NPO法人日本バリアフリー協会

電話：03-5215-1485 FAX 03-5215-1735 E-mail：info@npojba.org

15周年

チケット発売中

ゴールドコンサート本戦

日時

平成30年**10月6日**(土)
15:30 開場 / 16:30 開演

会場

東京国際フォーラム
ホールC

座席

全席指定	
SS席	4,000円
S席	3,500円
A席(高校生以下無料)	2,000円
車いす席	2,000円

チケット申込み



0570-02-9999
《Pコード 120-716》

- ★無料席・車いす席をご希望の方、補助犬をお連れの方は事務局に事前申込。
- ★必要な方介添者1名無料
- ★手話通訳・パソコン文字通訳あり。
- ★ご希望の席をご用意できない場合があります。

高校生以下無料招待

A席のみ高校生以下の児童・生徒の皆様[※]に無料招待席(A席指定席)を用意しています。子供たちに障がい者の活躍する姿を見てもらい、理解を深めてもらえれば幸いです。なお、事務局に事前申し込みが必要です。

合理的配慮・情報保障について

当日は車いす席、磁気誘導ループ、手話通訳、パソコン文字通訳、音声読み上げ対応テキストも用意しており、障がいを持つ皆様楽しんでいただけるよう準備しております。

インターネット生放送

会場に来られない方のためにインターネット生放送を行います。当日のゴールドコンサートの模様を全世界に向けて配信いたします。下記アドレスにアクセスして御覧ください。

平成30年10月6日(土) 16:30よりスタート
URL: <https://gc.npojba.org/live>



ポスター制作：一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ

お問合せ

NPO法人日本バリアフリー協会

〒102-0093
東京都千代田区平河町1-7-16-801号
TEL: 03-5215-1485
FAX: 03-5215-1735
E-mail: info@npojba.org
URL: <http://www.npojba.org>

この事業は、競輪の補助を受けて実施します。

発行所 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-1-17
ヴェルドゥーラ祖師谷102号
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会 定価50円

編集人 〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-16 801号
特定非営利活動法人日本バリアフリー協会
代表理事 貝谷 嘉洋